

## 【調査結果の概要】

### 1 農産物価格指数（令和2年=100）

令和4年の農産物価格指数（総合価格指数（以下「総合」という。））は102.2で、前年に比べ1.4%上昇した。

これは、米等の価格が低下したものの、野菜等の価格が上昇したことによる。

### 2 農業生産資材価格指数（令和2年=100）

令和4年の農業生産資材価格指数（総合）は116.6で、前年に比べ9.3%上昇した。

これは、飼料、肥料等の価格が上昇したことによる。

表1 令和4年 農作物価格指数

区 分		価格指数	対前年 騰落率 (4/3)	令和2年=100	
区 分		価格指数	対前年 騰落率 (4/3)	区 分	
農産物（総合）		102.2	1.4%	農業生産資材（総合）	
うち米		82.0	△ 7.4	うち肥料	130.8
いも		103.7	△ 9.0	飼料	138.0
野菜		106.2	9.8	光熱動力	127.3
花き		117.2	8.7	建築資材	133.3

### 3 農業交易条件指数

農業交易条件指数は87.7となり、前年に比べ7.2%低下した。

表2 農業交易条件指数の推移

区 分	令和2年=100						
	平成29年	30	令和元	2	3	4	対前年 騰落率 (4/3)
農産物価格指数（総合）①	97.7	100.7	98.5	100.0	100.8	102.2	1.4%
農業生産資材価格指数（総合）②	97.1	98.9	100.1	100.0	106.7	116.6	9.3
農業交易条件指数 ① ÷ ② × 100	100.6	101.8	98.4	100.0	94.5	87.7	△ 7.2

注： 農業交易条件指数とは、生産者の収益環境の変化を示す指標として指数化したものであり、農業交易条件指数の上昇は農業の経営環境の改善を意味する。

◎(参考)関連データ

関連指標の推移

区 分	単位	平成29年	30	令和元	2	3	4
主食用米の相対取引価格	円/60kg	15,595	15,688	15,716	14,529	12,804	13,907
民間流通における6月末在庫	万 t	199	190	189	200	218	218
ばれいしょ卸売数量	千 t	640	630	607	594	528	539
たまねぎ卸売数量	千 t	1,210	1,165	1,138	1,181	1,103	971
だいこん卸売数量	千 t	948	911	876	828	802	720
尿素輸入価格	円/t	58,336	64,701	58,112	45,153	55,326	113,024
配合飼料工場渡価格	円/t	63,306	66,076	66,865	66,586	77,378	93,316
為替レート(米ドル/円)	円	112.16	110.39	109.01	106.78	109.80	131.38
原油・粗油輸入価格	円/KL	38,317	50,633	45,835	31,820	48,013	84,722

資料： 主食用米の相対取引価格は、農林水産省農産局「米の相対取引価格・数量」  
 民間流通における6月末在庫は、農林水産省農産局「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」  
 ばれいしょ卸売数量、たまねぎ卸売数量及びだいこん卸売数量は、農林水産省統計部「青果物卸売市場調査」  
 尿素輸入価格及び原油・粗油輸入価格は、財務省「貿易統計」より算出  
 配合飼料工場渡価格は、(公社)配合飼料供給安定機構「飼料月報」より算出  
 為替レートは、日本銀行資料より算出

- 注：1 主食用米の相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月までの通年平均価格である。  
 2 主食用米の相対取引価格の令和4年産は、令和5年5月速報値である。  
 3 民間流通における6月末在庫は、うるち玄米及びもち玄米を合算した値である。  
 4 尿素輸入価格及び原油・粗油輸入価格は、CIF価格(保険料、運賃込み価格)である。  
 5 配合飼料工場渡価格は、全畜種加重平均(バラ、袋)である。  
 6 為替レートは、東京インターバンク相場スポット中心相場の各月中平均の単純平均である。

◎ 累年データ

図1 農業物価指数の推移(令和2年=100)

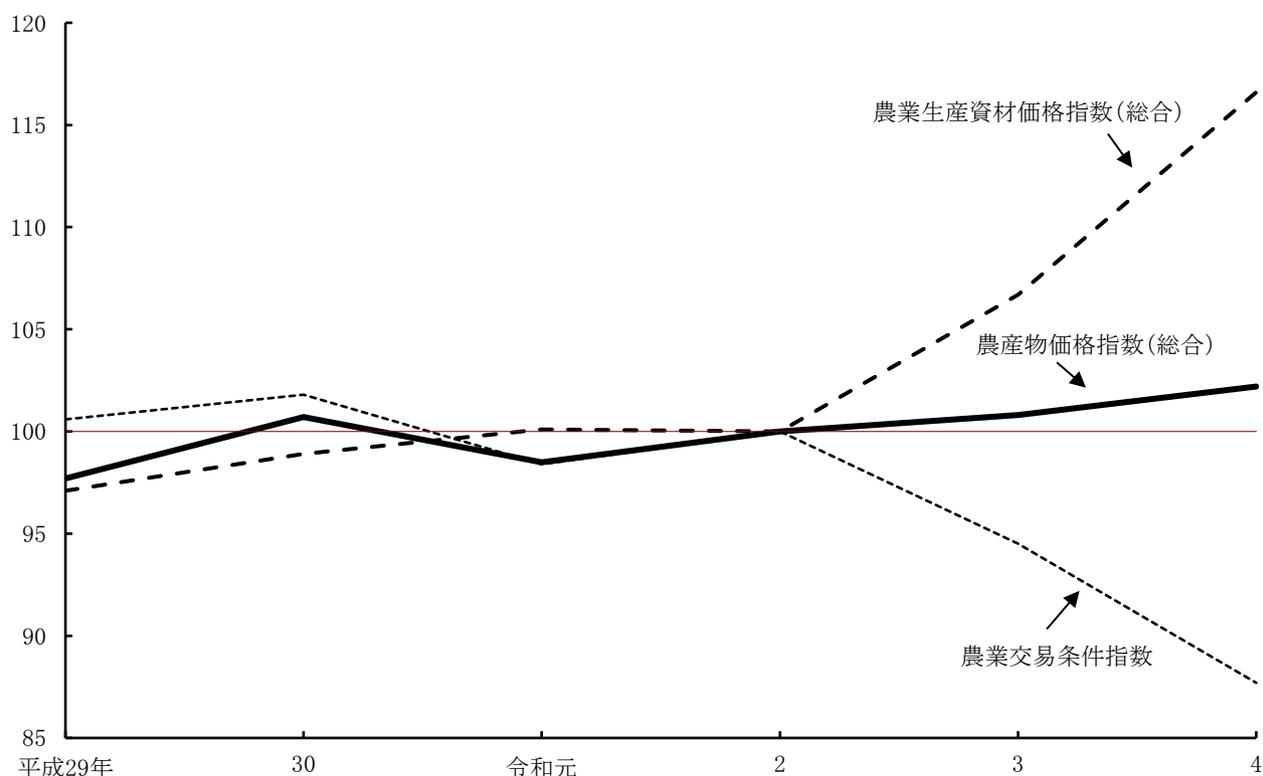


図2 農産物価格指数(総合)の月別推移(令和2年=100)

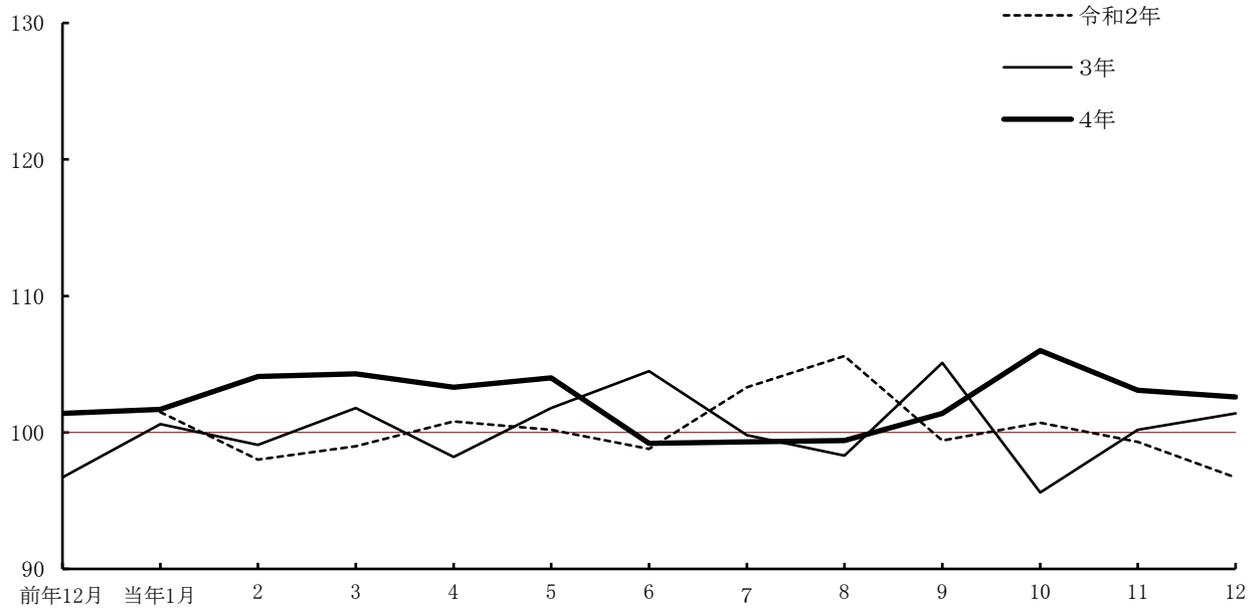


図3 主な農産物の類別・月別価格指数(直近3年間)(令和2年=100)

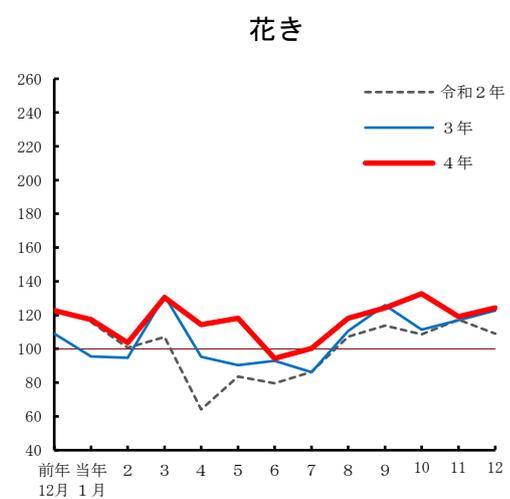
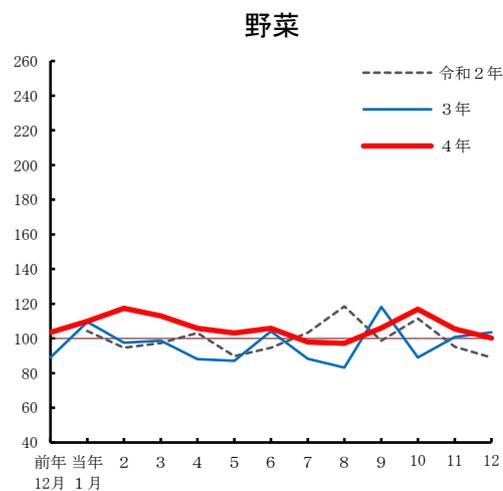
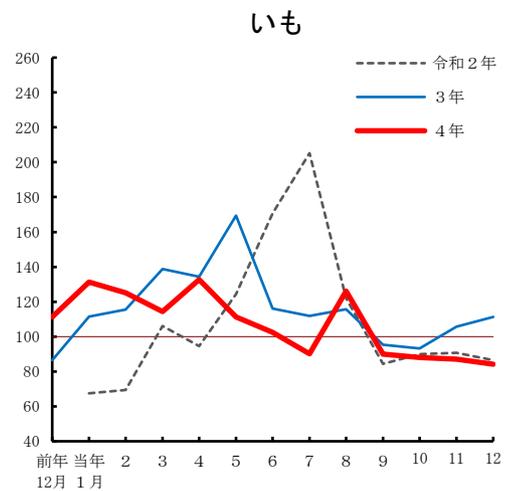
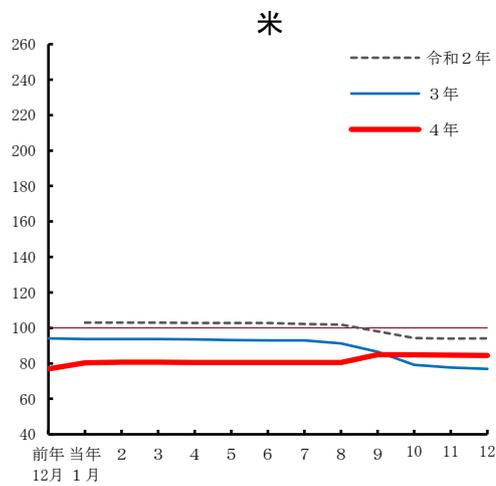


図4 農業生産資材価格指数(総合)の月別推移(令和2年=100)

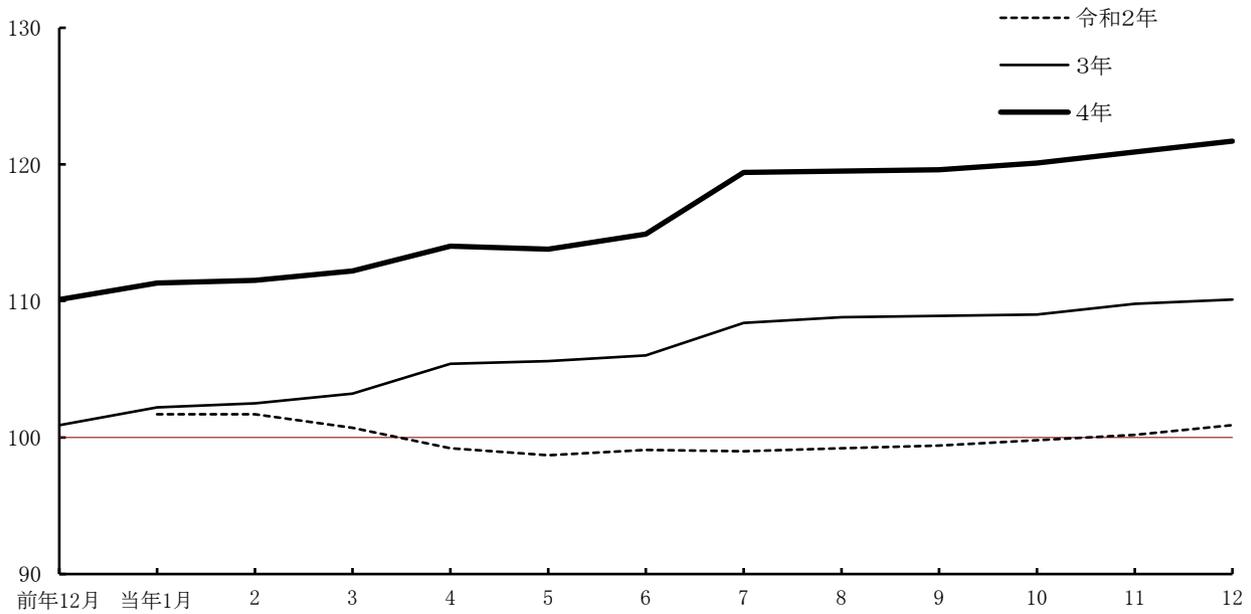
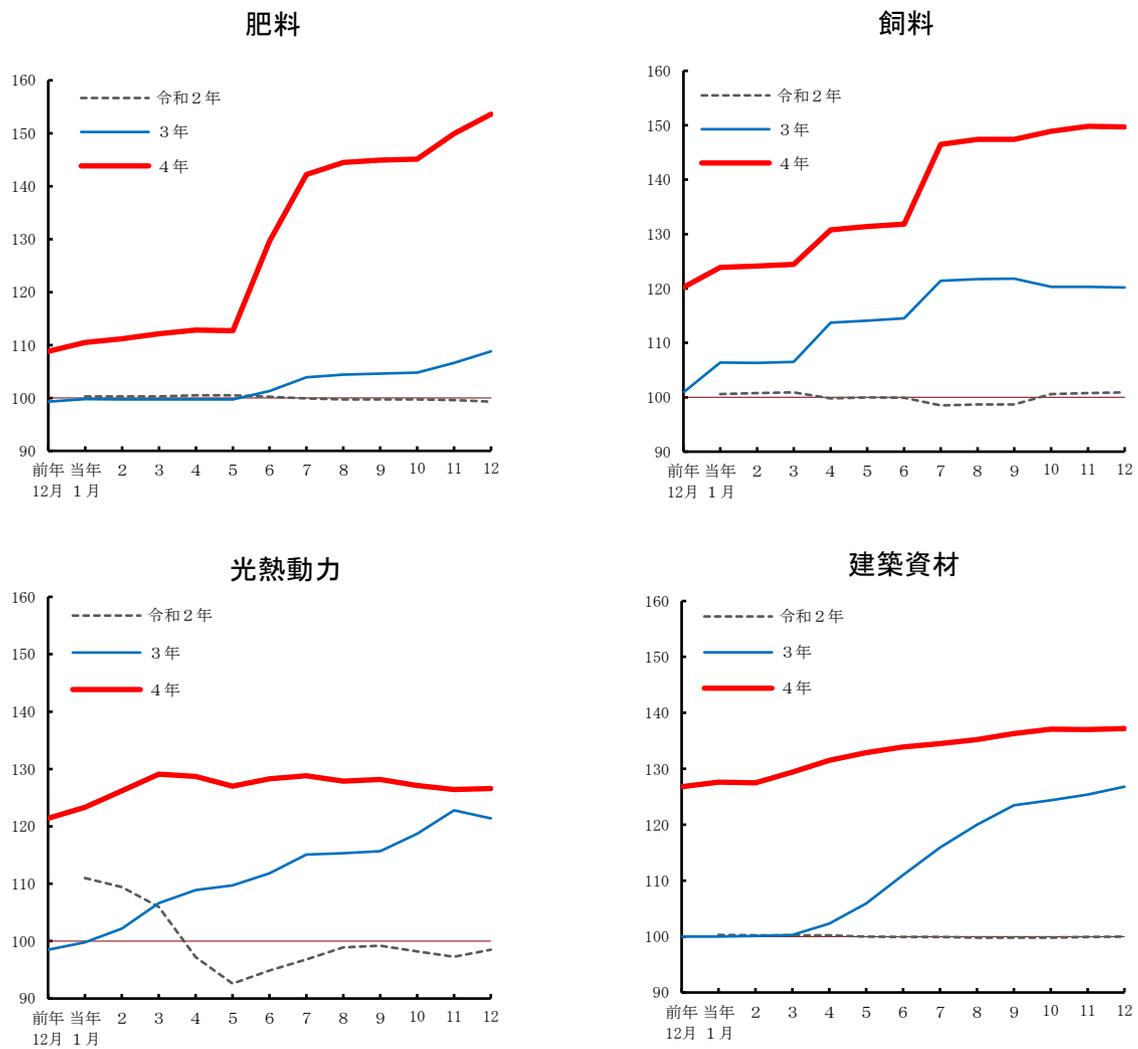


図5 主な農業生産資材の類別・月別価格指数(直近3年間)(令和2年=100)



## 【調査結果】

### 1 農産物価格指数

農産物価格指数（総合）は102.2となり、前年に比べ1.4%上昇した。

これは、米、いも等の価格が低下したものの、野菜、花き等の価格が上昇したことによる。主な類別の指数の動向についてみると、次のとおりである。

(1) 米は82.0で前年に比べ7.4%低下した。

これは、主食用米の民間在庫量が比較的高い水準で推移し、価格が低下したこと等による。

(2) いもは103.7で前年に比べ9.0%低下した。

これは、ばれいしょで、前年は天候不順で出荷量が減少し、価格が上昇していたものの、本年は出荷量が回復し、価格が低下したこと等による。

(3) 野菜は106.2で前年に比べ9.8%上昇した。

これは、たまねぎ、だいこん等で天候不順や気温上昇の影響により、出荷量が減少し、価格が上昇したこと等による。

(4) 花きは117.2で前年に比べ8.7%上昇した。

これは、新型コロナウイルス感染症対策の緩和によるイベント需要が高まったこと等により、価格が上昇したこと等による。

表3 農産物の年次別価格指数及び対前年騰落率

区 分	年次別価格指数						対前年騰落率					寄与度
	平成29年	30	令和元	2	3	4	平成30年	令和元	2	3	4	
農産物（総合）	97.7	100.7	98.5	100.0	100.8	102.2	3.1	△ 2.2	1.5	0.8	1.4	1.39
うち米	95.0	101.2	101.7	100.0	88.6	82.0	6.5	0.5	△ 1.7	△11.4	△ 7.4	△ 1.03
麦	79.4	99.0	96.1	100.0	106.1	118.4	24.7	△ 2.9	4.1	6.1	11.6	0.10
雑穀	183.5	206.4	156.1	100.0	126.0	161.6	12.5	△24.4	△35.9	26.0	28.3	0.02
豆	87.1	89.5	98.3	100.0	99.8	105.0	2.8	9.8	1.7	△ 0.2	5.2	0.04
いも	87.0	78.9	82.2	100.0	113.9	103.7	△ 9.3	4.2	21.7	13.9	△ 9.0	△ 0.28
野菜	101.8	108.8	95.9	100.0	96.7	106.2	6.9	△11.9	4.3	△ 3.3	9.8	2.32
果実	83.1	86.0	87.5	100.0	100.9	101.4	3.5	1.7	14.3	0.9	0.5	0.05
工芸農作物	116.0	108.2	104.7	100.0	113.4	113.1	△ 6.7	△ 3.2	△ 4.5	13.4	△ 0.3	△ 0.01
花き	100.4	102.7	107.9	100.0	107.8	117.2	2.3	5.1	△ 7.3	7.8	8.7	0.33
畜産物	104.1	101.7	102.2	100.0	105.6	105.3	△ 2.3	0.5	△ 2.2	5.6	△ 0.3	△ 0.12
うち鶏卵	115.6	105.0	98.6	100.0	125.9	128.7	△ 9.2	△ 6.1	1.4	25.9	2.2	0.16
生乳	97.1	97.7	99.5	100.0	99.4	99.9	0.6	1.8	0.5	△ 0.6	0.5	0.05
肉畜	104.9	99.2	99.8	100.0	102.5	106.7	△ 5.4	0.6	0.2	2.5	4.1	0.71
子畜	115.8	113.4	112.8	100.0	105.4	88.7	△ 2.1	△ 0.5	△11.3	5.4	△15.8	△ 0.95

注：寄与度は、令和4年の農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。

## 2 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数（総合）は116.6となり、前年に比べ9.3%上昇した。

これは、飼料、肥料等の価格が上昇したことによる。

主な類別の指数の動向についてみると、次のとおりである。

- (1) 肥料は130.8で前年に比べ27.4%上昇した。  
これは、輸入原料価格の上昇により、複合肥料等の価格が上昇したこと等による。
- (2) 飼料は138.0で前年に比べ19.4%上昇した。  
これは、輸入原料価格の上昇により、配合飼料等の価格が上昇したこと等による。
- (3) 光熱動力は127.3で前年に比べ13.4%上昇した。  
これは、原油価格の上昇により、重油等の価格が上昇したこと等による。
- (4) 建築資材は133.3で前年に比べ18.0%上昇した。  
これは、角材、合板等で、令和3年の木材価格高騰の影響が継続したこと等による。

表4 農業生産資材の年次別価格指数及び対前年騰落率

令和2年=100

区 分	年次別価格指数						対前年騰落率					寄与度
	平成29年	30	令和元	2	3	4	平成30年	令和元	2	3	4	
農業生産資材（総合）	97.1	98.9	100.1	100.0	106.7	116.6	1.9	1.2	△ 0.1	6.7	9.3	9.28
うち種苗及び苗木	95.8	96.2	97.4	100.0	101.5	104.0	0.4	1.2	2.7	1.5	2.5	0.11
畜産用動物	113.9	111.2	111.5	100.0	105.9	96.2	△ 2.4	0.3	△ 10.3	5.9	△ 9.2	△ 1.03
肥 料	93.8	95.4	99.2	100.0	102.7	130.8	1.7	4.0	0.8	2.7	27.4	2.04
飼 料	94.4	98.2	99.4	100.0	115.6	138.0	4.0	1.2	0.6	15.6	19.4	4.82
農業薬剤	97.2	97.2	98.2	100.0	100.2	102.9	0.0	1.0	1.8	0.2	2.7	0.20
諸 材 料	92.6	93.7	96.9	100.0	100.1	103.3	1.2	3.4	3.2	0.1	3.2	0.18
光熱動力	96.6	108.0	107.8	100.0	112.3	127.3	11.8	△ 0.2	△ 7.2	12.3	13.4	1.19
農 機 具	97.9	97.9	98.4	100.0	99.9	100.9	0.0	0.5	1.6	△ 0.1	1.0	0.12
自動車・同関係料金	96.5	96.9	98.1	100.0	100.4	101.0	0.4	1.2	1.9	0.4	0.6	0.02
建築資材	95.5	96.5	98.4	100.0	113.0	133.3	1.0	2.0	1.6	13.0	18.0	1.54
農用被服	95.1	95.4	96.8	100.0	100.3	103.0	0.3	1.5	3.3	0.3	2.7	0.01
賃借料及び料金	96.6	97.1	97.9	100.0	100.8	102.3	0.5	0.8	2.1	0.8	1.5	0.09

注：寄与度は、令和4年の農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。